

札 覆 亭 以 大 學

動物 學 的 原 理

八 田 三

郎

様

付 込



一  
之  
月  
七  
日



大阪市南区南堀江通壹丁目  
勝本鼎一

お成のお母のしにあらす  
きつことたきくしとあらす  
ありけりあるじまのり

實は父載くははあし  
今しかどうだかど勢りし  
美しししおしんが印し

どしと歎いうまお喜む

一同に共にあはれ合はる

お母とあはれはるるるる

ましまるるるるるるる

お母とあはれはるるる

お母とあはれはるるる

まじくふりかへしと申す  
お早き嬉しく流す

御しましたまむの氏を

一何る事と申す

よしと申す

春耐ちとすくはたが

あはれよす。リリ

が寝かしたら教習上

あらむとて載す

おのれおんかゝる

と申す。今夕

から公令の御のる

し者なりと申す

月々月

と。今夕之旨

から公念の世のなる事今

こそ本なりまほしきし

明な月耀るまふ事

矢のまほしき。

ひは又ら便じ

一向もるる事教へし

おかしき事し

三日月

鼎なる

八男大上様

藤下

ひた丈にほし

一向よりるを敷中上い

好中しむをしん

三月

鼎

八男大上様

膳下

三印の書より

名をよむ

また。そのうち

おつちきあ